



ほくとライブラリー



新屋図書館だより

発行：秋田市立新屋図書館

秋田市新屋大川町12-26 ☎ 018-828-4215

<https://www.city.akita.lg.jp/kurashi/shakai-shogai/1008469/1008848>

No. 230

R3. 3月号

今一度考えよう

～新型コロナウイルス感染症予防について～

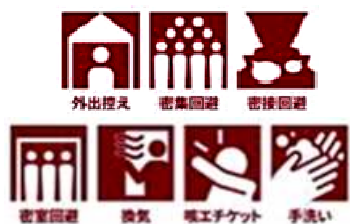
■新しい生活様式の実践を■

なるべくマスクを着用しましょう

会話の際は可能な限り真正面を避けましょう

周囲の人との距離に気を付けましょう（なるべく2m、できれば1m）

3密（換気の悪い密閉空間・多数が集まる密集場所・間近で会話や大声を発する密接場面）を避けましょう



■こんな時はしっかり手洗い！■

公共の場所から帰った時
咳やくしゃみ、鼻をかんだ時
ごはんを食べる前、食べた後
病気の人へのケアをした時



外にあるものに触った時（図書館の本に触る前後にも！）

3月のおはなし会

第1回

3月6日（土）

14:00～14:20

研修室にて

幼児～小学生

第2回

3月9日（火）

10:30～10:50

研修室にて

赤ちゃん～

新刊案内

マンガ人類学講義 ボルネオの森の民には、なぜ感謝も反省も所有もないのか
奥野 克巳、MOSA／著

日本実業出版社 請求記号 382.24 (文化人類学)

何のために生きるのかという問いはそもそも必要なのか。ボルネオの森の民は生きるために食べ、何かのためには生きていない。人類学者が、実際にボルネオに住み、狩猟採集を主生業とするプナンとともに暮らし、人間の根源的な生き方について考えます。マンガだからこそ伝わる興味深い講義内容です。



沈没家族 子育て、無限大。

加納 土／著

筑摩書房 請求記号 778.7 (保育)

1歳になる息子を共同で育ててくれる保育人を募集するピラをまくシングルマザー。集まった10人ほどの若者たちに育てられたのがこの本の著者です。大学の卒業研究で母と自分を題材に映画を製作することを決め、育ててくれた人たちに会って当時のことを聴いていくと…。



1日10分のぜいたく NHK国際放送が選んだ日本の名作

あさの あつこ、いしい しんじ、小川 糸ほか／著

双葉社 請求記号 Fイ (日本の小説)

NHK国際放送のラジオ番組「Reading Japan 朗読でたのしむ日本」で朗読された作品の中から8作品を厳選し文庫化しました。17か国の言語に翻訳し世界にも発信された日本の物語を1冊で楽しむことができます。豪華な作家陣にも注目です。



分解する図鑑 小学館の図鑑NEO+

森下 信、石井 克枝／監修・指導 水野 仁輔／監修協力

小学館 請求記号 R50 (図鑑)

テレビやエアコン、エレベーターなど、生活の中で見かける身近な機械を分解！どのような仕組みで動いているか、写真やイラストで紹介しています。ほかにも、いつも食べている食品や、使っているものがどんな原材料から作られているか知ることができるページもありますよ。



図書館員（清水 博文）のおすすめ本

書名	図説 久保田城下町の歴史
著者名	渡部 景一／著
出版社	無明舎出版
所蔵	明德、土崎、新屋、雄和、河辺、イソップ 請求記号 A 2 1 0 . 5 （ 秋田の歴史 ）



史跡旧跡を巡るまち歩きが、最近流行っていますが、この本は久保田城下のまち歩きにはとても参考になる本です。

久保田城の成り立ちはもちろん、城内その周辺の旧町について細かく解説されていますが、この本の古地図と照らし合わせながら現在の町をみると、新たな発見もあります。

久保田城の堀は、現在、公園周辺にわずかに

残っていますが、当時はもっと広範囲で、今ではその大部分が埋められ、住宅地となっています。ここで、古地図と現代の地図を見比べ、当時の堀の一部が、住宅地の区画と同じ形であることに気付いた時は、とても興奮しました。そして、その周辺に「土手」とか「堀」の付く旧町名を発見した時には、さらに感動したものです。

図書館員（近藤 明奈）のおすすめ本

書名	世界でいちばん素敵な 進化の教室
著者名	長谷川 政美／監修・写真
出版社	三才ブックス
所蔵	新屋 請求記号 4 6 7 . 5 （ 生きもの ）



Q 地球の生命の起源は？

Q すべての生物の共通祖先ってなに？

この本では、生命の誕生から現在まで、38億年の進化の歩みをQ&A形式でひも解いていきます。

生物の進化は不思議がいっぱい。ですが特に驚きなのは、私たち“ヒト”のルーツをたどっていくと、チンパンジー、ゴリラ、クジラ、

鳥、トカゲ、さらにはキノコ(!?)との共通祖先にたどり着くというところ。最終的には、地球に暮らす全ての生物は同じ祖先に行き着くと言われているそうです。

この本を読めば、そこら辺のアリにも親近感を抱いてしまうほど生きものの見方が変わるかもしれません。38億年も前から続く命の繋がりを、美しい写真とともに楽しみみてください。

記事になったお酒の話題あれこれ・・・飲める人も飲めない人も・・・

東京・六本木に昨年オープンしたバー「0%」。バーでありながらアルコール類を一切出さないお店です。「酒のように嗜好品として愛してもらえるように」と、香り豊かで少くせのあるドリンクを提供しています。しかし、「飲めない人向けの店」というわけではなく、友人と語らうため、気楽に楽しむためなど、客によって来店の目的は様々。コロナ禍で会食が減り、人々の集いも多様化する今、「飲まない楽しみ方」も広がりつつあります。飲める人も飲めない人も、おいしいドリンクで楽しい時間を過ごせたら最高ですね。

新屋は、醸造の街。
新屋図書館には、酒の
資料コーナーがあります。

【参考資料】
日本経済新聞
2021年1月10日

今、あなたへ

3月は卒業シーズン。卒業式や転勤などで慣れ親しんできた環境から卒業する人も多いことでしょう。4月に向けて心機一転、今までの自分から卒業するいい機会かもしれません。

汚文字に悩んでいる人には『美文字のすすめ』（中塚 翠涛／著、セブン&アイ出版）がおすすめです。書き方のコツのほかにも、書くためのおすすめグッズも紹介しています。

心身の不調を改善したいときには…『まんがでわかる 自律神経の整え方』（小林 弘幸、一色 美穂／著、イースト・プレス）。その不調は自律神経の乱れから来ているかも？深呼吸をする、お風呂に入る、乳酸菌を摂る…など日々の生活が軽やかになるためのちょっとした意識を教えてください。

心のモヤモヤからサヨナラしたい人には…『多分そいつ、今ごろパフェとか食ってるよ。』（Jam／著、サンクチュアリ出版）が自分の考え方のクセを改善してくれるかもしれません。マイナスな気持ちを抱いたときのアドバイスが4コマ漫画とともに解説されています。

みなさんはどんな自分から卒業したいですか？

図書館員のひとりごと

先日の地震にはひやりとしました。

揺れの大きさも長さもいつもより大きく、心配になってすぐに妹（犬）のところに走って行くと、当の妹は、大げさだなー、もう眠っていたのに静かにしてよとでも言いたげな様子。これまで3匹犬を飼ってきましたが、花火も暴風も雷も地震にも動じない犬はこの子だけです。

翌朝、ニュースを見て「昨日東北で大きな地震があったぞ！」と父が言い出し、こちらは動じないというより鈍感なのか何なのか…。

後日母に聞くと、初めての漢字検定の受験前日で、起きていたのに緊張で揺れていたことに気付かなかったのだとか。う、うーん…。(大石)

2月13日に起きた福島県沖を震源とする地震を受けて、家の中の防災グッズを点検しています。あらためて確認してみると、ものがそろっていなかったり、使用期限や賞味期限が過ぎていたり、やや頼りない状態…。それでなくともここ最近では天候が厳しく、地震のほかにも雪や風による災害のことも考えておかなければなりません。幸い、図書館には防災に関する本が多くそろっています。いまいちど情報を確認しなおし、物資と心の準備をしておくのはいかがでしょうか？

2021年で、東日本大震災から10年が経ちます。
(鎌田)